

令和6年度 事業報告

山梨県健康管理事業団は、県民の皆様の健康の維持・増進を図るため、健康増進法等関係法令に基づく健診・検査事業、公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業を実施し、市町村等の顧客ニーズに応え、より効果的に事業を推進している。

また、公益財団法人として当初の設立目的と存在意義を踏まえ、精度の高い健診・検査事業を実施するとともに、県の健康増進計画「健やか山梨21」と連携し、健康長寿の延伸・健康格差の縮小の実現に努めた。

健診業務については、各自治体と受診勧奨等の連携を図り受診率の増加に取り組むとともに、実施日数の短縮、1日当たりの受診者数を増やすなど、効率的な健診の実施に努めた。

職域健診については、一般財団法人甲南健康福祉協会の吸収合併や、新規事業所の獲得により受診者数は増加した。事業団として一丸となって更なる職域の健診事業拡大を目指す。

また、健診システムにおいては、第4期特定健診・特定保健指導の改正に伴い、質問項目の変更、随時中性脂肪項目の追加、保健指導はより成果に着目した評価に対応するため、健診システムや帳票類の修正を行った。

さらに、人間ドック学会や協会けんぽ等に準じた判定区分への変更を行い、個人結果報告書や結果データの更新等に取り組んだ。

加えて、健診会場におけるマイナ保険証の資格確認をオンラインで対応できるよう端末等を活用し受診者への利便性の向上を図った。

普及啓発事業については、県や関係機関協力のもと街頭キャンペーンの実施や、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024甲府」に参画し、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与した。

県民の健康増進のため、受診される県民の方々に満足度の高い健康診断の提供を目指し、日々職員の意識の向上を図りながら、公益財団法人として健診データを基に普及啓発活動に取り組んだ。

I 健診・検査事業

事業団は公益財団法人として、各自治体、医師会等と連携する中で、県民の健康管理及び健康増進を目指し、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、出張健診として、県内各地に所在する市町村、事業所及び学校他を対象に総合的に実施するとともに、県民から一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

1 特定健康診査・特定保健指導

(1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下11市町村より委託を受け、40歳から74歳を対象とした特定健診 8,044人、75歳以上の後期高齢者の健診 3,991人、39歳以下の若年者の健診 589人合わせて12,624人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して305人増加した。

高齢化や人口の減少、人間ドック等の需要の高まりにより今後、減少が予想されるなか、各自治体と連携し、受診者増加に向けた受診勧奨等に協力していく。

メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,402人(11.11%)、予備群該当961人(7.61%)、非該当9,095人(72.05%)、判定不能1,166人(9.24%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

年度	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能 (項目不足)	
R 2	11	9,852	1,134	11.51%	846	8.59%	6,904	70.08%	968	9.83%
R 3	11	12,869	1,578	12.26%	1,135	8.82%	9,226	71.69%	930	7.23%
R 4	11	12,679	1,480	11.67%	1,070	8.44%	9,132	72.02%	997	7.86%
R 5	11	12,319	1,412	11.46%	972	7.89%	8,859	71.91%	1,076	8.73%
R 6	11	12,624	1,402	11.11%	961	7.61%	9,095	72.05%	1,166	9.24%
比較増減		305	▲ 10	-	▲ 11	-	236	-	90	-

【特定健康診査等 ②階層化判定】

年度	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能 (項目不足)	
R 2	11	7,314	214	2.93%	558	7.63%	6,542	89.44%	0	0.00%
R 3	11	9,722	290	2.98%	717	7.38%	8,715	89.64%	0	0.00%
R 4	11	9,327	250	2.68%	652	6.99%	8,425	90.33%	0	0.00%
R 5	11	8,722	205	2.35%	578	6.63%	7,939	91.02%	0	0.00%
R 6	11	8,608	206	2.39%	606	7.04%	7,795	90.56%	1	0.01%
比較増減		▲ 114	1	-	28	-	▲ 144	-	1	-

(2) 特定保健指導

特定健診を実施した11市町村のうち5市町から特定保健指導を受託し、積極的支援18人、動機づけ支援51人の指導を実施した。

【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
上野原市	7	6	9	2	3	49	52	39	24	37
都留市	3	11	15	9	5					
富士川町	11	6	3	7	7					
富士河口湖町	5	0	3	2	2	15	20	19	13	14
南部町	2	2	3	2	1					
合 計	28	25	33	22	18	64	72	58	37	51

※人数は初回面接終了者数を計上

特定保健指導の結果、最終評価終了者56人中、メタボ脱出者は6人(10.7%)であった。

【特定保健指導結果】

	積極的支援			動機づけ支援			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	13	5	18	31	20	51	44	25	69
途中終了者	6	2	8	3	2	5	9	4	13
最終評価終了者	7	3	10	28	18	46	35	21	56
メタボ脱出者	1	0	1	1	4	5	2	4	6
内服開始者	1	1	2	1	3	4	2	4	6

※メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMIともメタボリックシンドローム判定基準未滿を達成した者

※内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

2 各種がん検診等

健康増進法に基づく各種がん検診については、厚労省の対策型がん検診における対象年齢、受診間隔等の見直しにより、受診者数は厳しい状況が続くと予想される。

特定健診等とがん検診を総合健診方式により、市町村、事業所等から委託を受け、実施に取り組んだ。

(1) 胃がん検診

県下15市町村の住民4,165人、県職員、県教職員及び事業所職員等2,534人、合せて6,699人の検診を実施し、前年度と比較して117人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は483人、要精検率7.21%であった。

追跡調査の結果精密検査を受診した者は337人、精検受診率69.77%で、精密検査結果は、がん発見数1人(発見率0.015%)であった。

【胃がん検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
R 2	15	7,512	751	10.00%	501	66.71%	3	0.040%
R 3	15	7,911	666	8.42%	478	71.77%	5	0.063%
R 4	15	7,332	517	7.05%	376	72.73%	8	0.109%
R 5	15	6,582	493	7.49%	350	70.99%	4	0.061%
R 6	15	6,699	483	7.21%	337	69.77%	1	0.015%
内 訳	市町村	4,165	326	7.83%	256	78.53%	4	0.096%
	職域等	2,534	157	6.20%	81	51.59%	1	0.039%
比較増減		117	▲ 10	-	▲ 13	-	▲ 3	-

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和7年3月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
R 2	112	26	2	308	42
R 3	120	21	2	276	50
R 4	107	31	1	199	30
R 5	106	19	3	184	29
R 6	106	8	1	186	29

(2) 肺がん検診

県下11市町村の住民12,445人、県職員、県教職員及び市町村教職員等3,491人、合せて15,936人の胸部X線検診を実施し、前年度と比較して92人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は276人、要精検率1.73%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は221人、精検受診率80.07%で、精密検査結果はがん発見数6人(発見率0.038%)であった。

また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて181人が受診し、精密検査を要する者は0名であった。

【胸部X線検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 2	11	15,410	126	0.82%	92	73.02%	6	0.039%	
R 3	11	16,845	140	0.83%	104	74.29%	5	0.030%	
R 4	11	16,739	120	0.72%	101	84.17%	4	0.024%	
R 5	11	16,028	228	1.42%	197	86.40%	12	0.075%	
R 6	11	15,936	276	1.73%	221	80.07%	6	0.038%	
内 訳	市町村	11	12,445	244	1.96%	200	81.97%	6	0.048%
	職域等		3,491	32	0.92%	21	65.63%	0	0.000%
比較増減		▲ 92	48	-	24	-	▲ 6	-	

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数 (検体数)	判定不能 (検体不良)	異常認めず	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率
R 2	10	173	9	164	0	0	0	-
R 3	10	313	26	286	1	1	0	-
R 4	10	276	19	257	0	0	0	-
R 5	11	276	21	255	0	0	0	-
R 6	11	181	7	174	0	0	0	-
内 訳	市町村	108	2	106	0	0	0	-
	職域等	73	5	68	0	0	0	-
比較増減		▲ 95	▲ 14	▲ 81	0	0	0	-

(3) 大腸がん検診

県下11市町村の住民10,427人、県職員、県教職員及び事業所職員等7,409人、合わせて17,836人の検診を実施し、前年度と比較して2,055人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は892人で要精検率5.00%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は443人、精検受診率は49.66%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数30人(発見率0.168%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 2	11	14,731	707	4.80%	354	50.07%	13	0.088%	
R 3	11	15,981	756	4.73%	413	54.63%	12	0.075%	
R 4	11	15,966	682	4.27%	376	55.13%	16	0.100%	
R 5	11	15,781	734	4.65%	421	57.36%	16	0.101%	
R 6	11	17,836	892	5.00%	443	49.66%	30	0.168%	
内訳	市町村	11	10,427	524	5.03%	346	66.03%	25	0.240%
	職域等		7,409	368	4.97%	97	26.36%	5	0.067%
比較増減		2,055	158	-	22	-	14	-	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和7年3月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他疾患	異常認めず
R 2	166	33	21	12	84
R 3	198	51	25	17	90
R 4	200	44	27	21	68
R 5	225	40	24	18	86
R 6	214	41	32	12	92

(4) 乳がん検診

県下14市町村の住民7,631人、事業所職員等548人、合せて8,179人の検診を実施し、前年度と比較して81人増加した。受診者のうち無料クーポン対象者は200人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者189人で要精検率2.31%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は170人、精検受診率は89.95%で、精密検査結果は、がん発見数21人(発見率0.257%)であった。

検査方法の内訳は、マンモグラフィ検査のみ6,147人、乳腺超音波検査のみ2,014人、マンモグラフィ・超音波検査併用18人で、がん発見数21人の内訳は、マンモグラフィで18人、乳腺超音波検査3人であった。

【乳がん検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
R 2	14	8,642	285	3.30%	230	80.70%	10	0.116%	
R 3	14	8,396	216	2.57%	183	84.72%	14	0.167%	
R 4	14	8,184	257	3.14%	226	87.94%	13	0.159%	
R 5	14	8,098	231	2.85%	192	83.12%	29	0.358%	
R 6	14	8,179	189	2.31%	170	89.95%	21	0.257%	
内訳	市町村	14	7,631	176	2.31%	158	89.77%	20	0.262%
	職域等		548	13	2.37%	12	92.31%	1	0.182%
比較増減		81	▲ 42	-	▲ 22	-	▲ 8	-	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和7年3月末 現在)

	乳腺症	線維線種	乳腺のう胞	その他	異常認めず
R 2	25	23	35	36	95
R 3	20	26	40	19	61
R 4	19	22	58	28	83
R 5	18	25	36	26	53
R 6	24	20	26	17	62

【検査方法内訳】

(令和7年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	6,147	162	2.64%	146	90.12%	18	0.293%
乳腺超音波	2,014	26	1.29%	23	88.46%	3	0.149%
マンモ+超音波	18	1	5.56%	1	100.00%	0	0.000%

(5) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、15市町村の住民16,270人、事業所職員等812人合せて17,082人の検診を実施し前年度と比較して311人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は454人で、要精検率2.66%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は335人、精検受診率は73.79%であった。

精密検査の結果発見されたがんは、肝臓3人、胆のう1人、腎臓3人、膵臓2人、その他2人の合計11人(発見率0.06%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	
R 2	15	13,926	503	3.61%	340	67.59%	
R 3	15	16,395	541	3.30%	396	73.20%	
R 4	15	16,973	490	2.89%	355	72.45%	
R 5	15	16,771	417	2.49%	296	70.98%	
R 6	15	17,082	454	2.66%	335	73.79%	
内 訳	市町村	15	16,270	433	2.66%	327	75.52%
	職域等		812	21	2.59%	8	38.10%
比較増減		311	37	-	39	-	

【臓器別がん発見数】

(令和7年3月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
R 2	2	1	2	1	0	6	0.043%
R 3	4	0	1	1	0	6	0.037%
R 4	6	2	4	0	2	14	0.082%
R 5	2	0	1	0	0	3	0.018%
R 6	3	1	3	2	2	11	0.064%

【臓器別疾患数】

(令和7年3月末 現在)

	肝臓疾患	胆のう疾患	腎臓疾患	膵臓疾患	脾臓疾患	その他	異常認めず
R 2	76	60	53	78	2	10	41
R 3	88	71	35	111	1	28	42
R 4	81	45	33	104	2	19	34
R 5	60	54	27	79	1	25	30
R 6	89	47	26	103	1	17	25

(6) 前立腺がん検診(血液PSA検査)

県下10市町村の住民3,166人、事業所職員等673人、合わせて3,839人実施し、前年度と比較して338人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は213人で要精検率5.55%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は127人、精検受診率は59.62%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数8人(発見率0.208%)で、前立腺がん疑いの者49人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
R 2	10	3,071	165	5.37%	94	56.97%	10	0.326%	26	
R 3	10	3,616	225	6.22%	153	68.00%	8	0.221%	46	
R 4	10	3,811	237	6.22%	150	63.29%	18	0.472%	40	
R 5	10	3,501	186	5.31%	128	68.82%	14	0.400%	42	
R 6	10	3,839	213	5.55%	127	59.62%	8	0.208%	49	
内訳	市町村	10	3,166	180	5.69%	123	68.33%	8	0.253%	46
	職域等		673	33	4.90%	4	12.12%	0	0.000%	3
比較増減		338	27	-	▲ 1	-	▲ 6	-	7	

【精検結果内訳・がん以外】

(令和7年3月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
R 2	32	4	18
R 3	62	4	28
R 4	54	5	30
R 5	39	2	26
R 6	42	3	19

(7) 結核検診

市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合せて38,504人の検診を実施し、前年度と比較して1,757人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は1,457人、要精検率3.78%であった。
追跡調査の結果、結核患者の発見はなかった。

【結核検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核患者数	その他疾患	異常認めず
R 2	35,794	1,350	3.77%	880	65.19%	0	605	275
R 3	37,757	1,733	4.59%	1,277	73.69%	0	920	357
R 4	37,388	1,350	3.61%	943	69.85%	0	586	357
R 5	36,747	1,387	3.77%	1,052	75.85%	0	713	339
R 6	38,504	1,457	3.78%	1,024	70.28%	0	685	339
比較増減	1,757	70	-	▲ 28	-	0	▲ 28	0

(8) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診については、全国健康保険協会(協会けんぽ)加入事業所等の職員を対象に実施した。

受診者115人で、前年度と比較して41人増加した。精密検査を要する者は3人であった。

【子宮頸がん検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
R 2	137	1	0.73%	1	-	0	-
R 3	121	3	2.48%	1	33.33%	0	-
R 4	104	0	0.00%	0	-	0	-
R 5	74	1	1.35%	0	-	0	-
R 6	115	6	5.22%	3	50.00%	0	-
比較増減	41	5	-	3	-	0	-

(9) 骨粗鬆症検診

県下12市町村の住民2,953人、事業所職員等8人、合せて2,961人の検診を実施し、前年度と比較して1,527人減少した。

受診者のうち、精密検査を要する者122人で要精検率4.12%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は84人、精検受診率は68.85%で、精密検査結果は、骨粗鬆症56人であった。

検査方法の内訳は、D X A 法1,558人、超音波法1,403人であった。

【骨粗鬆症検診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	骨粗鬆症	骨量減少	その他	異常認めず	
R 2	12	3,730	76	2.04%	56	73.68%	36	14	0	6	
R 3	12	3,953	85	2.15%	57	67.06%	26	19	1	9	
R 4	12	4,251	118	2.78%	73	61.86%	37	22	1	11	
R 5	12	4,488	101	2.25%	60	59.41%	32	17	0	8	
R 6	12	2,961	122	4.12%	84	68.85%	56	19	1	5	
内訳	市町村	12	2,953	119	4.03%	84	70.59%	56	19	1	5
	職域等		8	3	37.50%	0	0.00%	-	-	-	-
比較増減		▲ 1,527	21	-	24	-	24	2	1	▲ 3	

【検査方法内訳】

(令和7年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	骨粗鬆症
D X A 法	1,558	117	7.51%	80	68.38%	55
超音波法	1,403	5	0.36%	4	80.00%	1

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて22,447人の健診を実施し、前年度と比較して4,815人増加した。

約4,800人の増加については、3事業所の新規獲得と甲南健康福祉協会との合併により、民間企業と市町村教職員の健診が増加となった。

【職域健診実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	市町村 職員	市町村 教職員	県職員	県教委 職員	大学・ 専門学校	民間 企業等	合計
R 2	518	1,667	2,483	1,868	1,691	8,476	16,703
R 3	521	1,733	2,485	1,754	2,814	8,616	17,923
R 4	521	1,750	2,455	1,729	2,735	8,325	17,515
R 5	492	1,777	2,248	1,808	2,699	8,608	17,632
R 6	496	3,511	2,234	1,845	2,535	11,826	22,447
比較増減	4	1,734	▲ 14	37	▲ 164	3,218	4,815

4 学校保健安全法に基づく検診検査

(1) 心臓検診

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査13,464人を実施した。前年度と比較して、心電図検査が4,569人となり、甲南健康福祉協会との合併により増加となっている。

心電図検査の要精検者数は578人、要精検率4.29%であった。

【心電図・心音図検査実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
R 2	8,507	1,268	14.91%	23	3	13.04%
R 3	8,182	379	4.63%	4	0	0.00%
R 4	9,136	411	4.50%	3	0	0.00%
R 5	8,895	407	4.58%	0	0	-
R 6	13,464	578	4.29%	0	0	-
比較増減	4,569	171	-	0	0	-

(2) 寄生虫卵検査

県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて692人の検査を実施し、法改正に伴い、前年度と比較して1,353人減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は0人であった。

【寄生虫卵検査実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	受検者数	保卵者	寄生虫卵内訳		保卵率
			蟯虫	その他	
R 2	3,325	5	5	0	0.150%
R 3	2,573	2	2	0	0.078%
R 4	2,145	4	4	0	0.186%
R 5	2,045	0	0	0	0.000%
R 6	692	0	0	0	0.000%
比較増減	▲ 1,353	0	0	0	-

(3) 尿検査

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等61,471人の検査を実施し、合併により前年度と比較して20,180人増加した。

1次検査の陽性者1,733人(陽性率2.82%)のうち、2次検査を1,553人実施し、陽性者は370人(陽性率23.82%)であった。

【尿検査実施状況】

(令和7年3月末 現在)

	1次検査			2次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
R 2	40,148	1,041	2.59%	898	206	22.94%
R 3	43,729	1,440	3.29%	1,301	331	25.44%
R 4	42,741	1,301	3.04%	1,139	201	17.65%
R 5	41,291	1,226	2.97%	1,058	257	24.29%
R 6	61,471	1,733	2.82%	1,553	370	23.82%
比較増減	20,180	507	-	495	113	-

	1次検査 陽性者内訳				2次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
R 2	73	285	672	35	22	27	143	16
R 3	84	320	988	49	18	54	243	17
R 4	87	318	856	45	18	35	143	7
R 5	125	283	771	55	30	28	187	16
R 6	126	370	1077	42	38	83	220	9

II がん対策

「がん」は昭和58年以降、山梨県の死亡原因の第1位となり全死亡者の3分の1を占めており、日本人の2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで死亡されている。

県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、がんの総合的な対策を推進している。

これに呼応して、健康管理事業団は県からの委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営のほか、さまざまながん対策を行っている。

1 がん相談およびがんサロン

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に実施している保健師、ピア・サポーターの面接及び電話による相談、就労に関する社労士（毎月第3火曜日）による相談等がん患者やその家族が抱える様々な相談に対応するべく窓口を設け、相談者の不安や悩みの解消に努めた。

令和6年度はがん患者・家族の交流場として、「対面によるがんサロン」を3回、「オンラインによるがんサロン」を3回、イベントにおいて「出張がんサロン」を2回開催し、参加者による意見交換を行った。

- 医師相談 0名
- 保健師相談 11名
- 社労士相談 2名
- ピア・サポーター相談 9名
- がんサロン 48名（内対面11名、オンライン16名、出張21名）

2 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024甲府

8月30日（金）午後4時～午後11時まで山梨県立大学池田キャンパスにおいて、県立大学と共催でリレーウォーク等によるチャリティーイベントを行った。

台風上陸の予報があったため第9回目の今回は夜越えはせず、1日みの開催となった。

開催経費を除いた募金、広告料等は全額（公財）日本対がん協会に寄付され、寄付金は「がん患者や家族の支援」とがん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

- 主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024 甲府実行委員会
公益財団法人日本対がん協会
- 参加者 250名
- 募金額 870,222円

3 受診率向上のための普及啓発活動

- **がん征圧月間街頭キャンペーン**

令和6年 9月10日（火） 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ10名

- **結核・呼吸器感染症予防街頭キャンペーン**

令和6年 9月24日（火） 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ12名

- **県民の日記念行事**

令和6年11月17日（日） 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 7名

III 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載を行った。

9月10日に甲府駅南口周辺において、県、がん患者サポートセンターで相談にあっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒーを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診に向けた街頭キャンペーンを行った。

そのほか、県下全市町村、医療機関、関係機関等にごがん予防知識啓発用ポスター及び禁煙ポスターを配布した。

2 結核・呼吸器感染症予防街頭キャンペーンの実施

「結核・呼吸器感染症予防週間」（9月24日～30日）に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月24日にJR甲府駅南口周辺において、県、甲府市、県愛育連合会の協力のもと、結核予防普及啓発資材及び絆創膏付「STOP結核！」のロゴ入りポケットティッシュの配布による結核習慣予防街頭キャンペーンを実施した。

3 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

- 「第37回県民の日記念行事」 県主催

令和6年11月17日（日） 小瀬スポーツ公園

- ・ ピア・サポーターによる「がんサロン」の実施（7名）
- ・ 乳がん視触診モデル体験
- ・ 骨密度検査の実施（100名）
- ・ 各種啓発資材等の配布

4 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

IV 研修事業

1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加数
【結核予防会】		
令和6年度結核予防会関東甲信越支部ブロック会議 [新潟県]	10月25日	3人
第76回結核予防全国大会・支部長会議 [岩手県]	2月4日～6日	1人
第29回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月26日～27日	2人
令和6年度結核予防会支部事務局長研修会・事務連絡会議	3月26日	1人
【日本対がん協会】		
2024年度全国事務局長会議	7月11日	1人
2024年度がん征圧全国大会 [埼玉県]	9月12日～13日	2人
令和6年度日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会 [栃木県]	11月15日	2人
【予防医学事業中央会】		
全国運営会議	7月18日	1人
令和6年度特定健康診査保険指導研修会	10月30日・11月11日	2人
第69回予防医学事業推進全国大会 [長崎県]	11月21日～22日	1人
令和6年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議 [群馬県]	11月29日	3人
令和6年度全国業務研修会 [福井県]	2月27日～28日	1人

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加数
【健診部・検査課】		
日本超音波医学会 第97回学術集会	5月31日～6月2日	1人
日本超音波医学会 第36回関東甲信越地方会学術集会	10月5日～6日	1人
第63回日本臨床細胞学会（秋期大会）（オンライン）	12月2日～27日	2人
日本臨床検査精度管理調査報告会	3月14日	1人
XRシリーズメンテナンストレーニング	3月17日	1人
【健診部・放射線課】		
第63回日本消化器がん検診学会総会	6月7日～9日	1人
第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	9月15日	1人
検診マンモグラフィ撮影技術認定更新試験	11月23日	1人
第23回胃X線検査を楽しく学ぶ会	2月8日	3人
胸部症例検討会	12月16日・2月19日	7人
胃部X線読影判定講習会（オンライン）	3月1日	1人
肺がん検診従事者講習会	3月11日	7人
マンモグラフィ症例検討会	3月27日	7人

- 3 県内9検診機関等で構成する各検診機関の情報共有・情報交換を目的とした「検診実施機関情報交換会」が令和7年1月10日に山梨県厚生連健康管理センターに於いて開催され、胃検査の年齢制限、マイナ保険証の取扱い、健診結果のWEB配布、サイバーセキュリティ対策等の議題について意見が交わされた。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

(1) 令和6年4月1日 第1回「理事会」 (決議省略)

役員を選定について可決承認された。

(2) 令和6年4月1日 第1回「評議員会」 (決議省略)

評議員の選任や理事の選任について可決承認された。

(3) 令和6年6月4日 第2回「理事会」 於 山梨県医師会3階会議室

令和5年度事業報告や収支決算報告、評議員の選任につきその候補者、理事の選任につきその候補者、監事の選任につきその候補者、令和6年度定時評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。

(4) 令和6年6月19日 第2回「評議員会」 於 山梨県医師会3階会議室

令和5年度事業報告や収支決算報告、評議員の辞任及び選任、理事の選任、監事の選任について審議が行われ、可決承認された。

(5) 令和7年3月13日 第3回「理事会」 於 山梨県医師会1階多目的ルーム

令和7年度主要な取り組みや事業計画(案)、収支予算(案)、評議員の辞任及び選任につきその候補者、理事の辞任及び選任につきその候補者、評議員会書面決議の承認について審議が行われ可決承認された。

2 経営管理会議

安定した運営に資するため、各種事業の進捗状況及び経営状態の現状を把握し、新規事業の導入や効率的な事業推進方策を検討する、課長補佐以上で構成する経営管理会議を毎月開催した。

3 健診システムリプレイス検討委員会

健診システムリプレイスに伴い、事業団の職員で構成する委員会を新たに立ち上げ、令和8年度から本格的に稼働できるよう、12月から毎週会議を開催し、検討を進めた。

VI 救急医療情報センター運営業務

救急医療情報センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供に努めている。

令和6年度の救急案内件数は28,300件で、前年度と比較すると8,658件増加した。

令和6年4月から、甲府市の一般診療時間内の案内業務及び中巨摩東部地域の休日、夜間を含む全ての時間帯の案内業務が、甲府市医師会医療センターから当センターに移行された。

そのため甲府市と中巨摩東部地域の住民からの問い合わせが増加し、センター開設以来の最多案内件数となった。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

年度	H01	H02	H03	H04	H05	H06	H07
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358
H08	H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15
7,585	7,133	8,186	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900
H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
13,844	14,905	15,384	15,109	16,145	21,254	19,368	18,917
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
19,333	18,642	19,687	19,656	19,334	18,589	18,279	17,944
R02	R03	R04	R05	R06	合計		
12,230	14,231	16,070	19,642	28,300	491,617		

3 案内状況

種別		令和5年度	令和6年度
救急医療情報センター案内件数		19,642	28,300
受付時間別案内件数	深夜(0時～8時)	2,465	3,781
	日中(8時～18時)	10,672	17,360
	準夜(18時～24時)	6,505	7,159
診療科目別案内件数	内 科	9,285	15,218
	小 児 科	2,281	2,407
	外 科	1,034	1,683
	整 形 外 科	2,339	3,065
	眼 科	598	1,342
	耳 鼻 咽 喉 科	852	701
	歯 科	550	1,093
	脳 神 経 外 科	902	132
	皮 膚 科	749	1,066
	産 婦 人 科	97	407
	泌 尿 器 科	260	78
	精 神 神 経 科	42	613
	そ の 他	653	495